

石山

発行所 札幌市立石山中学校
発行者 綱島 七恵
住所 南区石山2条8丁目7-1
電話 011-591-8853

2学期終業式の言葉

校長 綱島 七恵

今日で2学期の終業式を迎えました。今年も残りわずかとなりましたが、皆さんにとって、この2学期はどんな日々だったでしょうか。振り返ると、学校祭や合唱発表会などの大きな行事もあり、生徒会や部活動での中心が2年生にバトンタッチされました。様々な場面で皆さんのが頑張る姿はとてもかっこよく、中には感動さえ与えてくれました。特に、各行事の中で3年生の先輩が見せる姿は流石と思いました。そして、3年生はいよいよ卒業とその先の進路に向けての準備期間となります。この冬休みは自分の望む「なりたい自分」に向けて、充実した時間の使い方をしてほしいと思います。

今年は早いうちからインフルエンザなどの感染症が流行しましたが、皆さん一人一人が手洗いや換気を心がけてくれたおかげで、学校では大きな広がりはありませんでした。この後も体調管理に気をつけて、元気に過ごしてください。

さて、今日は「人権」についてお話しします。人権とは、簡単に言うと、「誰もが安心して生活し、自分らしく生きるために大切な権利」のことです。これは、皆さん一人一人に、生まれたときから与えられているものです。しかし、世の中には残念ながら、いじめや差別、ネット上の心ない言葉など、人の人権を傷つける出来事があります。こうした問題は「自分には関係ない」と思ってしまうとなくすることはできません。私たち一人一人が、「自分ごと」として考えることが大切です。

世界に目を向けると、今も戦争が続いている国があります。戦争では、多くの人が傷つき、命を失っています。悲しいことにその中には、皆さんと同じ子どもたちもいます。本来、学校や病院など守られるべき場所が壊されている現実があります。だからこそ、「人を大切にすること」は、世界共通でとても大事なことなのです。

皆さんに、ぜひ守ってほしいことがあります。それは「人の心や体を、言葉や行動で傷つけない」ということです。2学期中にも、友達とのトラブルがあったかもしれません。間違えることは誰にでもあります。その後「どう行動するか」がとっても大切です。相手の気持ちを考え、素直に謝り、やり直すことができれば、人との信頼は深まります。「人を大切にすることは、自分を大切にすること」もあります。「他者への思いやりの心は自分への思いやり」を引き寄せます。一人一人がこのことを意識して行動すれば、石山中学校はもっと安心できる、居心地のよい学校になります。

冬休みは、少し立ち止まって、自分の言葉や行動を振り返る時間にしてください。来年が、皆さんにとって、そして、世界にとって、争いの少ない一年になることを願って、私の話を終わります。それでは、よいお年を迎えてください。

(二学期終業式 校長講話より)

二学期の反省と三学期に向けて

2年2組 太田 心花

私は今学期、合唱発表会と定期テストの二つに力を入れて取り組みました。まずは合唱についてです。今年は去年と違い、クラス全体の人数は多かったのですが、ソプラノは私も含め五人しかいませんでした。他のパートに比べて少し不利な状況でしたが、アルトやテノールと積極的に交流してお互いに意識を高めていました。他パートに負けないようにできる限り声を大きく響かせるように工夫しながら練習を重ねていきました。なので当日は落ち着いた心をもって本番に臨むことができました。

次に定期テストについてです。今回は一学期の悔しさをバネに後悔しないようにという気持ちを常にもつて対策しました。ですがテストの三日前には、何ヶ月も前から楽しみにしていた好きなバンドのライブがありました。その日にはテストへの不安を0にして全力で楽しめるよう、それまでに一生懸命勉強しました。この意識が今回のテストの結果につながり、過去最高点数をとることができました。

最後に3学期に目指したいことについてです。三学期は三年生につながる重要な時期なので、気を抜かずに勉強に励みたいと思います。四月からは受験生という立場になり、本格的に勉強を始める人も多くなっていきます。そこに向かう練習として、ある程度の時間は集中して学習できるようにしたいです。

今学期を冬休みにゆっくり振り返って、安定して三学期をむかえたいです。

札幌市教育委員会では、全国的な課題となっている教職員の長時間勤務、休暇取得促進等への対応策として、冬休み期間中において、「冬季休校日」の取組を実施いたします。これに伴い本校では、1月5日(月)～1月6日(火)までを休校日とさせていただきますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

また、上記期間および土日祝日の電話対応はできませんのでご了承ください。上記期間以外の冬休み中の平日につきましては、8時15分～16時45分の間に電話連絡をしていただきますようお願いいたします。なお、冬季休校日の取組についてのお問い合わせにつきましは、札幌市教育委員会・教職員課労務係(電話：211-3853)にお願いいたします。

あなたの相談先は？

家族や友人、先輩、先生、スクールカウンセラーのほか、下記の相談窓口も、あなたをサポートしてくれます。

【電話での相談窓口 ※通話料無料】

○いじめ電話相談（少年相談室）

TEL 0120-127-830

○24時間子供SOSダイヤル

TEL 0120-0-78310

○子どもアシストセンター

TEL 0120-66-3783

【メール、LINEでの相談窓口】

○子どもアシストセンター

メール: assist@city.sapporo.jp

LINE:



【虐待に関する相談※通話料無料】

○虐待対応ダイヤル

TEL 局番なし 189 (いちはやく)

子ども相談支援センター

相談窓口のお知らせ

いじめや不登校、体罰などの学校教育に関する悩み、子育て・しつけなど家庭教育に関する悩みなど相談してください。



センターWebページ



●電話相談

TEL 0120-3882-56

(無料、毎日 24 時間対応)

●メール相談

doken-sodan@hokkaido-c.ed.jp

※急ぎの場合は電話相談を利用してください

●来所相談

(10～16時、土日・祝日、年末年始はお休みです。)

子ども相談支援センター

札幌市中央区北3条西7丁目道庁別館8階

※上記の電話相談で予約してください。

※ センターのWebページに、「子ども相談支援センターへの相談事例」を掲載しています。次のURLからご覧ください。

URL: <http://www.dokyo1.pref.hokkaido.lg.jp/hk/ssa/soudanjirei.pdf>